

授業科目

眼科薬理学I

担当教員名 戸田 春男、可児 一孝(非)、田淵 昭雄(非)	対象学年	2	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	

授業の概要

薬剤の作用機序を通して、生体の恒常性維持機構と病気、さらに薬剤による治療との関連について学習する。

授業の目的

視能訓練士に必要な薬理学に関する基礎知識を身につける。

学習目標

1. 正しい点眼方法が説明できる。
2. 眼科の診断、治療に用いられる薬剤が理解できる。
3. 薬剤の作用が理解できる。
4. 薬剤のショック対策が説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ガイダンス	講義	戸田 春男
2	散瞳薬 (交感神経作動、副交感神経遮断)	講義	戸田 春男
3	縮瞳薬 (交感神経遮断、副交感神経作動)	講義	戸田 春男
4	点眼指導	講義	戸田 春男
5	自律神経作動薬と神経伝達物質	講義	可児 一孝
6	薬物の眼内移行、血液網膜関門	講義	可児 一孝
7	小括	講義	戸田 春男
8	点眼検査 Horner症候群、脱神経過敏症	講義	田淵 昭雄
9	副腎皮質ステロイド薬の効果と副作用	講義	田淵 昭雄
10	薬物の投与方法 副作用、健康被害	講義	田淵 昭雄
11	薬物中毒 ショック対策	講義	田淵 昭雄
12	弱視および斜視の診断に用いる薬物	講義	戸田 春男
13	弱視および斜視の治療に用いる薬物	講義	戸田 春男
14	緑内障関連治療薬	講義	戸田 春男
15	まとめ	講義	戸田 春男

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	視能学 第2版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子(編) 他	文光堂	2011年	18,000円+税	前年までに購入済み
参考書						
その他の資料						

評価方法

定期試験 70%
小試験 20%

提出物 10%

履修上の留意点

再試験・追試験は必要があれば原則として1回のみ実施する。
締切を過ぎた提出物は原則として受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

水曜日の昼休み
P306
toda@nuhw.ac.jp